



新歓まなび庵4/5(土)

「学級びらき」の不安、具体的な話で心が軽くなった 保護者・子どもへのかかわり方も参考になった

超多忙な1週間が終わり、疲れもピークの中で開かれた新歓まなび庵に、新採用になった先生たちも参加して、充実した話やたがいの交流ができました。

リコーダー演奏、アイデア交流、授業・クラスづくりの実践報告

オープニングには、先輩の先生たちが自分たちも楽しめるリコーダー演奏。学級びらきの先生自己紹介ネタのアイデア交流もあつての学び庵スタートに。

桜丘北小の阪田さんの実践報告では、自分の「やらかしちゃった」経験からスタート。

自分はダメだと思わずに、だれもが同じ思い・経験生かしてきたと、若い先生たちに優しく温かいメッセージをつたえ、クラスでも失敗することの大切さを子どもにつたえている日常の

かかわり方のヒントを話してもらえました。

そのほかにも100ます計算の取り組みなど具体的な実践の積み重ねの中での、子どもたちへの働きかけ、アプローチのヒントをたくさん紹介。担任としての最初の動きも、具体的なノートの資料をもとに紹介してもらえました。



にぎやかなグループ「頑張っていこうという気持ちになれた」

「保護者子どもへのかかわり方を勉強できた」

後半はグループ交流でたがいの学校の様子も含めた自己紹介で時間が足りなくなるぐらいにぎやかな話し合いに。

参加された先生たちも「来週から頑張っていこうという気持ちになれた」「なかなか一人では相談・解決することはできないこともあると思うので、こういう場があるのはとても良いこと」と参加してよかったとの感想が寄せられていました。

中には、学び庵の講師の先生や、グループ交流で一緒になった先輩の先生を見て「あの先生、小学校、中学校の時に見たことがある」と思われぬ出会いもあったり、新任同士の交流やつながりができることを求めて、自ら申し込んで参加する先生など、多忙と不安の中で、つながりや、安心して何でも相談できる場を求めていることも聞かれました。

学び庵終了後の交流飲み会にも若い先生たちが参加して、遅くまでにぎやかに交流ができました。



学校司書 全校配置に向け増員のはずが 中学校配置を小学校配置に変更、「突然、なんで？」

伏見市長は昨年2月に市議会で、学校司書の小中全校へ1名ずつの配置を目指す旨を表明、本来は今年度の4月からの増員を検討していましたが、いつの間にか増員は取りやめとなるだけでなく、中学校配置の司書を、小学校配置に変更する方針が突然示されて実施に移されています。

全校配置の増員中止、司書は中学校配置から小学校配置に

従来学校司書は枚方の小中学校全体で25名、うち中学校には19名ずつ配置され、校区の小学校にも兼任で関わっていました。小学校には6名が大規模校を中心に配置されていました。

それが、令和7年度予算が示される段階で、増員がいつの間にか取りやめとなるうえ、突然に中学校配置の学校司書が小学校配置に変更に。

小学校配置の司書は複数校兼任で、中学校は全氏を5ブロックに分けて、ブロック内小学校の司書が兼任する形に変更となっています。

学校司書の方からも、「事前に何も知らされず突然の話だ」「小中で図書の内容の大きく変わり、子どもへの紹介の仕方も工夫が必要、大きな変更で準備がもっと必要」「全校配置のはずが、なぜ、こんなふうになったのか十分な説明もない」という声が聞かれています。



背景に、市長の大規模駅前再開発計画で財政困難の見通し

今回の突然の変更の背景には、伏見市長が固執する大規模開発の枚方市駅前再開発があることは明白です。議会へ示した今後の財政見通しでも、市長案の再開発に莫大な財政負担が生じ、来年以降慢性的な財政赤字となり、その穴埋めのために多岐に渡る市民施策の削減が必要となることが分かっています。

3月末に大規模開発の市長提案が賛成見込みが困難となり、取り下げとなっており、伏見市長が無謀な財政負担の発生する再開発計画に固執する限り、枚方は長期的な財政困難と、市民生活の犠牲が迫られます。

早急な計画の見直し、市民施策充実の姿勢に転換すべきです。

部活動指導員

寝屋川市は14人+コーディネーター1名を配置

枚方は5名のみ 昨年5名募集で配置は1名

部活動の「地域展開」の取り組みで、文科省は次期改革推進期間(2026~2032年)の前半には平日部活動の地域展開完了を求めるとともに、休日部活動の地域展開を進めるとしています。

枚方市は、学校部活動の見直しや現場教員の負担軽減が進まず、子育て中などの先生、若い先生や指導経験のある先生に大きなしわ寄せがきています。

一方で、隣の寝屋川市では部活動指導員を14名配置(昨年11人)と、コーディネーター1名を配置して、地域展開の推進や各連盟、団体と連携していくとしています。

枚方市教委で、部活動を管轄する指導課は、各学校に「授業スタンダード」「課題解決型学習(PBL)」「探求学習」「個別最適な学習」「自由進度学習」など、次々「先進的」で「特別な授業方法や教育活動を求めてくる一方で、現場にとって切実な課題となっている負担軽減につながる、部活動の見直しは遅々として進んでいません。

部活動指導員の確保、配置の拡充は早急に力を入れて教育委員会が取り組むことが求められます。

2026(令和8)年度大阪府教員採用試験 出願締め切り 4/18(金) 募集定員 580人増の1810人に、年齢制限も「撤廃」に

来年度の大阪府教員採用試験の出願がすでに始まっています。締め切りは4/18(金)までです。

教員不足を受けて、来年度試験では、募集定員が大幅に増員されています。受験年齢の制限も撤廃、支援学校や中学校技術の採用試験では、条件があるものの、免許がなくても受験・採用が可能となり、特別免許での勤務を前提にしています。

一方で、学校現場を支えてきながら、採用試験のための勉強や準備もままならない中で受験に挑んでいる講師の先生たちもたくさんいます。

これらの講師の先生たちが正当に評価されて正規の教員として教壇に立てるように、採用試験の在り方をさらに見直す必要があります。

採用試験 主な変更点	
① 募集定員大幅増	580人増
② 年齢制限撤廃	
③ 免許規定緩和	
支援学校免許なくても可※	
中学技術免許なくても可※	
※条件あり	

募集定員	令和8年度	令和7年度
小学校	700名(+250)	450名
中学校	600名(+300)	300名
高等学校	250名(+10)	230名
支援学校	220名(+20)	200名
養護教諭	30名(-10)	40名
栄養教諭	10名	10名
合計	1,810名(+580)	1,230名
※ 小学校には小中生生き生き連携含む		

なにわの教員採用選考学習会

めざそう！！仲間とともに（略称・めざとも）

「めざとも」は「ともに励ましあいながら合格をめざそう」と2006年から始まった教員採用選考学習会です。採用選考試験を受ける人、正規採用された人たちで実行委員会をつくり、思いやアイデアを出し合いながら学習会に取り組んでいます。講師の先生同士の交流やつながりづくりもできる貴重な機会です。

- 第1回 4/26(土)13:30～たかつガーデン 面接対策、合格者体験談
- 第2回 5/10(土)13:30～たかつガーデン 模擬授業対策、練習
- 第3回 6/22(日)13:30～たかつガーデン 面接練習・面接個票の書き方

参加費各回 1000円
事前申し込み必要
Web 申し込みのみ

詳しくは、こちらをご覧ください。⇒



次回 まなび庵(国語) 5/31(土)10:00 旧メセナひらかた

テーマ 「つながる国語の授業～個性を生かす仕事～」

講師 松山幸治さん(船橋小)

「残業代不支給」「主務教諭」給特法政府案では、改悪に一斉定時アクションで現場から声をあげよう

4/16(水)一斉アクション、4/12(土)枚方スタンディング宣伝

深刻な教員不足を受けて、政府でも教員の給与や働き方の検討を続け、教員処遇を見直すため残業代不支給の働き方を定めた「給特法」の改訂案が今の国会で審議、成立させようとしています。

政府の給特法の改定案は、①残業代不支給のまま、調整手当を順次引き上げ(今年度4→5%)、②教諭と首席の間に「新たな職」(主務教諭)を置く、③担任等には手当を一部(3000円)上乘せなどを主な内容としています。(全教と文部省の折衝では支援学級担任は対象外)

これでは、残業代不支給の仕組みが続き、「働かせ放題」が温存される上、「主務教諭」の新設は大阪市や東京都のように、全体の教員給与が下げられるうえ、学校で一部の教員だけで何でも決まるトップダウンの学校に変質することが懸念されます。

現場の先生たちが、力を合わせて声をあげ、アクションを

昨年も枚方は深刻な教員不足で、「先生たちがこれではもたない」事態があちこちで発生しています。欠員が出て市教委からの具体的な支援策や負担軽減策も閉められることなく、通常の業務、課題が求められます。今年度は市費講師の昨年以上の不足でスタートしています。

しかし、保護者や市民には学校の中が見えづらく、市教委からの「ポジティブな情報」だけが伝えられるため、何が起きているのかも知らされないため、理解が広がっていません

何よりも困難に直面する、教職員自身が目に見えて、声にして伝える学校や子どもたちの実状を知らせて広げていくことが何より重要です。



昨年2月の教員不足問題のスタンディング

4・16 一斉定時アクション、4・12 枚方アクションスタンディング宣伝 10時Tサイト前
枚方教組は教職員自ら声をあげ、アクションで表そうと、全国的に呼びかけられる「一斉定時アクション」に取り組んできました。みんなで一斉に定時退勤しようと呼びかけたり、一言アピールを下位で、SNSに登校したり、職員室の机の上に三角柱ポスターを立てて、職員にアピールするなど多彩な取り組みをしてきました。

全国的には4月16日(水)に一斉定時の退勤を呼びかける取り組みとともに、枚方で4/12(土)12:00から枚方Tサイト前で、一斉定時アクションのスタンディング宣伝に取り組めます。

ポスターを掲げて、スタンディングだけでも皆さんと一緒にアピールをしていきましょう。

万博学校見学 事前下見 これで本当に大丈夫？ 保護者も学校に、なぜ行くの？大丈夫なのか不安の声、

万博下見が始まっているものの、ひたすら歩く、熱中対策どうすればいい？手荷物検査通るのに1時間以上、通路横に、メタンガス抜き用の太いパイプがいくつも見える。迷子大丈夫？などの声の下見に行った先生から聞かれます。

枚方でも保護者からも、なぜ行くことになったのか、うちはいかせたくない、安全対策大丈夫なのかと電話や来校して不安の声を訴える保護者が出ています。十分な事前の検討で慎重に判断するとともに、保護者にも十分な説明が求められます。